

KARIMOKU NEW STANDARD at Milano Design Week 2019

**KNS Exhibition - Present, Past and Future -
at Rho Fiera Milano Expo
Tue 9 April - Sun 14 April 2019**

**KNS - Home & Garden -
In collaboration with chef Shiori Goto
at Via Cernaia 7, Milano (Brera district)
Tue 9 April - Sat 13 April 2019**

カリモクニュースタANDARD これまでの10年、これからの10年

1940年に設立した木工所時代からの年月を数えると、カリモクという会社は約80年間、木という素材に向き合いながら、日本の暮らしの中で人々に長く寄り添える家具を考え、製造ができるメーカーをめざしものづくりを行ってきました。そして2009年、世界で活躍するデザイナーとの協働のもと、「KARIMOKU NEW STANDARD (KNS)」という新しいブランドを立ち上げ、現在は海外にもその活動の場を広げています。

KNSがずっと大切にしているテーマの一つに「日本産の径の細い広葉樹の有効活用」があります。KNSは、この考えによってスモールオブジェクト中心の商品展開からスタートしました。それから少しずつ、新たなアイデアや技術、蓄積してきたノウハウを生かし、この10年の間にダイニングテーブル、ソファ、キャビネットなどのアイテムが加わり、奥行きをもったブランドへと一歩ずつ成長をしてきました。少しずつ挑戦を始めている、照明やキッチンといった家具というジャンルを超えたものづくりもご覧いただけるよう準備を進めています。

長いようであっという間に訪れた10度目のサローネ。今年は本会場と市内のギャラリーの2つの会場で出展します。KNSのこれまでの10年をみなさんに感謝し、これからの10年をみなさんにご期待いただけますように。ぜひご注目いただけますと幸いです。

Present, Past and Future KNS 2019 Exhibition

毎年、世界に向けた新作発表をロー・フィエラミラノ（本会場）で行なっています。今年は、新たにコラボレーションの始まった東京で活動をするスイス出身デザイナー、Moritz Schlatter によるチェアなど多くの新作を発表します。また、同じくスイス出身のプロダクトデザイナー Dimitri Bähler や、KNS ではおなじみの Christian Haas による照明も提案します。木製家具メーカーというイメージを超え、これまでに培ってきた経験と技術を生かしジャンルを超え、今 KNS はさまざまなことに挑戦を始めています。KNS が思い描いているさらなる 10 年のイメージを、この会場でぜひご覧ください。

Present, Past and Future KNS 2019 Exhibition

Venue: Rho Fiera Milano Expo A07 / Hall 10

Date & Time: 2019.4.9 tue - 4.14 sun 9:30 - 18:30

Polar Chair



座面と背もたれの柔らかな形と直線的で角ばった脚の対比のおもしろさ、またそれら相互作用により力強さの中に繊細な印象を併せ持つ、普遍的でコンパクトなスタッキングチェア。新たに開発したモダンなベージュトーンを含む半透明着色仕上げによる幅広いカラーバリエーションで展開します。

Moritz Schlatter (モーリッツ シュラッター)

1976年スイス生まれ、チューリッヒにてインダストリアルデザイナーとして活動後、複数の国際的デザインスタジオでの経験を経て、2010年にチューリッヒに自らのデザインスタジオを構える。2016年より拠点を東京に移し、フリーランスまた芦沢啓治建築設計事務所のアソシエイツデザイナーとしても活動している。日用使いのものに焦点を当て、単純さと明快さそして作品を通して人々に楽しさと感情を喚起させるものを追求している。スイス、中国、日本のメーカーへデザインを提供、複数の受賞歴、ドイツ、スイス、東京などでの展示経験がある。

Parabole Light (プロトタイプ)



パラボラライトは KNS 初の照明製品開発の試みのうちのひとつ。木部をキャンバスに見立て、その表面に現れる明暗の面白みというのがデザインの着想。木材加工に精通したカリモクの技術への探求であり、材の薄さと込み入った削り出しパターンへのカリモクによる挑戦でもある。シェードの大きさに差を持たせ異なる風合いとカラーを実現するために光源を標準化最小化することで、活用と可能性に幅を持たせた。パラボラライトは空間に浮かび、暖かな環境光を作り出すので様々な環境で使用することができる。

Dimitri Bähler (ディミトリ・バラー)

1988年スイスのビール/ビエンヌで生まれ、2010年 ECAL を卒業、2014年に自身のスタジオを出身地に開設、工業製品のデザインのみならずハンドメイド作品やインスタレーションも手掛ける。作品は多用途で自発的かつ先鋭的と表されるものの、どこか詩的でもあり常に製造技術と素材への丹念な研究を怠らない。2016年の Biennale Interieur 大賞など受賞多数。Hermès、HAY、Established & Sons、Moustache などの国際的ブランドや異なる領域のアート、デザインギャラリーとのコラボレーションも手掛る。また Grand Hornu、W* House、MUDAC Lausanne、Museum für Gestaltung Zürich、Swiss Institute New York などの美術館、研究所にも作品が収蔵されている。

Archive High Table & High Stool



アーカイブハイテーブルは伝統的な日本の木工技術に発想を得た精緻な接合部のディテールと表面の柔らかな触り心地が特徴的で、快適でリラックスした心地良さを提供。オプションの棚板やコード収納によってさらにスマートさや機能性を備えることも可能。ハイスツールはアーカイブハイテーブルを補完するデザインだが、単体でパースツールとしても、より快適な座り心地を実現する張り込みのタイプのものもある。

Christian Haas (クリスチャン・ハース)

1974年にドイツ生まれ。2000年に自身のスタジオを設立。以来インダストリアルデザイナーとして家具、照明から陶器やガラス製品など多岐にわたるプロダクトを制作。現在はポルトガル・ポルトが拠点。デザインへのアプローチはシンプルさと優美さの融和によるものであり、実直さ・情緒・有用性・耐久性・唯一性の調和により導かれた審美眼による作品は、これまでレッド・ドット・デザイン賞やエル・デコレーション国際デザイン賞などを受賞。デザインギャラリーや Rosenthal、Karakter、Arita2016、Tecta などの国際的ブランドへも作品を提供。照明作品「ROPES」がヴィトラデザインミュージアムに常設展示されている。

KNS Home & Garden in collaboration with Japanese chef Shiori Goto

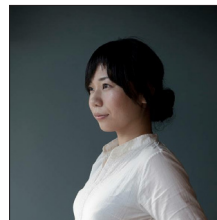
もうひとつは、サローネ期間中に小さなプライベートハウスをオープンします。ブレラ地区に見つけた小さなアパートで、大きな庭がありキッチンと庭に面してサンルームもあります。KNSは以前からエキシビションなどを行う時は、普段の生活のように食やアートがKNSの家具とともにあるような場所をつくることを意識してきました。「KNS - Home & Garden -」と題したこの場所では、あちらへこちらへと慌ただしく過ごすサローネ期間中のみなさんに、しばしリラックスした時間を過ごしていただけたらと思っています。

和食料理人・後藤しおりさんも日本からやってきて、彼女の国境を超えて通じる笑顔とおもてなしのハートと、KNSの家具に体を預けて、ほっと寛ぎの時間をお過ごしください。これまでの10年間の感謝の気持ちを込めて。

KNS Home & Garden in collaboration with Japanese chef Shiori Goto

Venue: Via Cernaia 7, Milano (Brera district)

Date & Time: 2019.4.9 tue - 4.13 sat 11:00 - 17:00



後藤しおり（料理人）

父親は鮫職人。ブータン料理店、野菜料理店などを経て2012年に独立。東京・世田谷を拠点に、仕出し料理、出張料理人として活動。日常食、季節料理、御節句の弁当や詰め合わせなどの他、催事、会社への仕出しや出張料理を行う。
<http://gotoshiori.com>

KARIMOKU NEW STANDARD New Brand Identity & New Web site

K
N
S

ロゴデザインについて — 長嶋りかこ /village®

カリモクニュースタンダードが10周年を迎えるにあたり、次のステップに向かうための整理をしました。

まずこれまで呼び名が「カリモクニュースタンダード」「ニュースタンダード」「ケーエヌエス」「カリモク」など、名前が長いために様々な呼び名が存在している状況でしたが、ロゴマークを「KNS」とすることで集約を図ります。また、KNSはワールドワイドにデザイナーと協働しユニークなデザインを展開していますが、そのデザインを可能にするのは、工場に積極的に導入している日本のテクノロジーと日本ならではの職人の技です。その背景を象徴するべく、ロゴマークの英字は縦書きにしています。

そして、KNSはものづくりを通して日本の森が抱える問題に取り組んでおり、そのひとつに小径の広葉樹の有効利用があります。ゆえに、資材は「細長いこと」が特徴になり、プロダクトにおいても細長さを生かしたデザインが生まれることから、ロゴマークに「小径」から着想した長方形を入れています。

PRESS CONTACT

デイリープレス 竹形尚子

東京都目黒区青葉台 3-5-33 川辺ハイツ1F

tel. 03-6416-3201 / 090-1531-6268

naotakegata@dailypress.org

www.karimoku-newstandard.jp